

2023年3月期 第2四半期  
決算説明資料

2022年10月24日  
神奈川中央交通株式会社

## 2023年3月期 第2四半期 決算概要

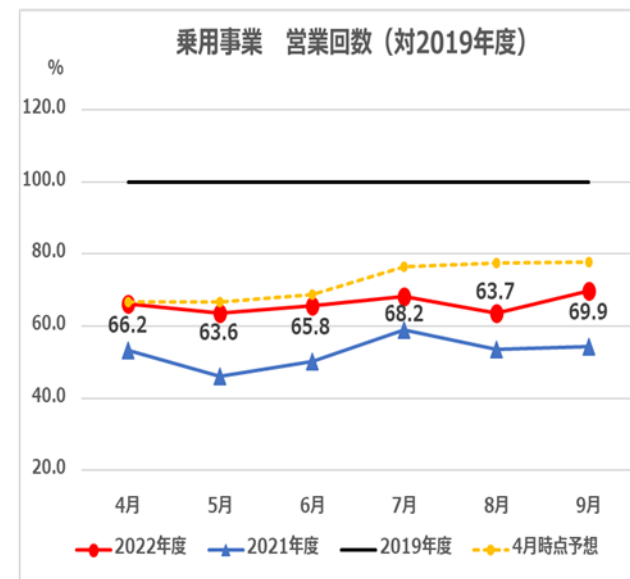
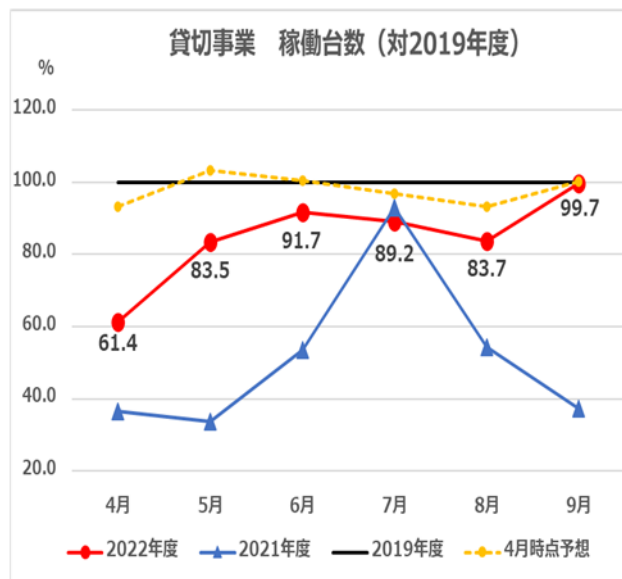
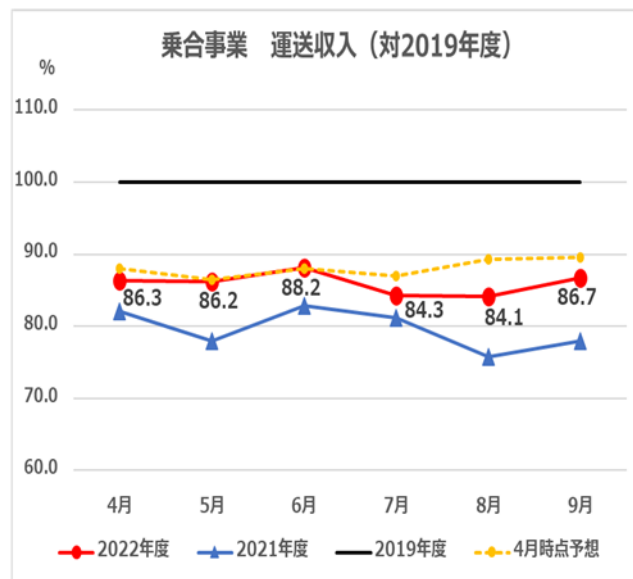
---

## 期中および9月末時点での状況

- 旅客需要は、2022年3月のまん延防止等重点措置終了後から緩やかな回復基調で推移したものの、第2四半期に入り、いわゆる「第7波」の影響により再び減少
- 前年との比較では旅客需要が回復しているものの、感染症拡大前(2019年度)の水準を下回る

乗合事業	■ 「第7波」の影響により、旅客需要に落ち込みがあったものの、足元は感染症拡大前の9割弱まで回復
貸切事業	■ 教育旅行などの需要が持ち直したことや、契約輸送の獲得により、足元の稼働台数は概ね感染症拡大前の水準まで回復
乗用事業	■ 飲食店等の営業時間が延長されたことで夜間を中心に旅客需要の回復が見られたことなどにより、足元の営業回数は感染症拡大前の7割程度まで回復

※ 感染症拡大前:2019年度実績



(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減
売上高	50,091	48,058	2,032 (4.2%)
一般旅客自動車運送事業	24,794	22,240	2,553
不動産事業	3,057	3,768	△ 710
自動車販売事業	12,726	13,139	△ 413
その他の事業	13,423	12,432	990
調整額	△ 3,910	△ 3,523	△ 387
営業利益	2,520	397	2,122 (534.1%)
一般旅客自動車運送事業	397	△ 1,989	2,386
不動産事業	1,415	1,574	△ 158
自動車販売事業	483	544	△ 60
その他の事業	278	333	△ 55
調整額	△ 54	△ 65	10
経常利益	2,720	1,157	1,563 (135.0%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,937	685	1,252 (182.8%)
1株当たり四半期純利益	157.90円	55.84円	102.06円
減価償却費	3,012	3,297	△ 285
EBITDA(営業利益+減価償却費)	5,532	3,695	1,837

2023年3月期 第2四半期業績予想 (2022年4月公表値)	増減
48,500	1,591 (3.3%)
25,870	△ 1,075
3,090	△ 32
10,040	2,686
13,030	393
△ 3,530	△ 380
2,610	△ 89 (△ 3.4%)
850	△ 452
1,310	105
160	323
310	△ 31
△ 20	△ 34
2,620	100 (3.9%)
1,850	87 (4.7%)
150.75円	7.15円

(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減	摘要
営業外収益	416	979	△ 563	助成金収入△593
営業外費用	215	219	△ 4	支払利息△9
特別利益	3	258	△ 255	固定資産売却益△102 補助金収入△80 受取補償金△71
特別損失	41	275	△ 234	固定資産除却損△120 固定資産圧縮損△79

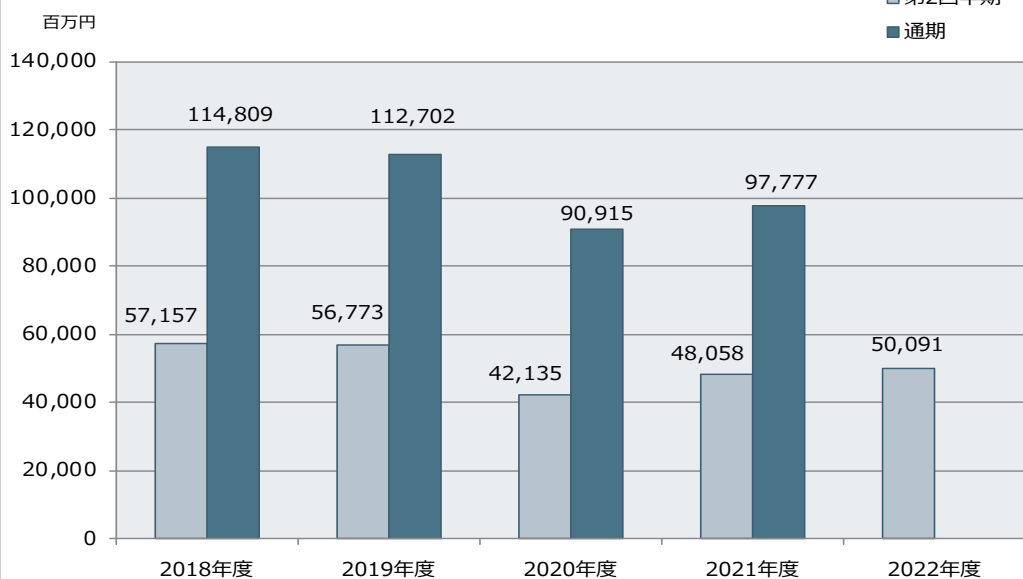
(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期	増減	摘要
流動資産	20,198	18,431	1,767 (9.6%)	商品及び製品+1,496
固定資産	127,538	128,475	△ 936 (△ 0.7%)	減価償却累計額△2,430 投資有価証券△828 土地+1,950
資産合計	147,737	146,906	830 (0.6%)	
流動負債	35,846	32,047	3,798 (11.9%)	短期借入金+1,827 その他流動負債+1,648(前受収益他)
固定負債	57,646	61,698	△ 4,051 (△ 6.6%)	長期借入金△2,576 リース債務△1,045 繰延税金負債△399
負債合計	93,493	93,746	△ 253 (△ 0.3%)	
純資産合計	54,244	53,160	1,084 (2.0%)	利益剰余金+1,692 その他有価証券評価差額金△566
負債純資産合計	147,737	146,906	830 (0.6%)	
1株当たり純資産額	4,049.01円	3,971.82円	77.19円	
自己資本比率	33.6%	33.2%	0.4P	
有利子負債残高 (借入、社債及びリース)	56,175	57,686	△ 1,510	借入金△748 リース債務△762

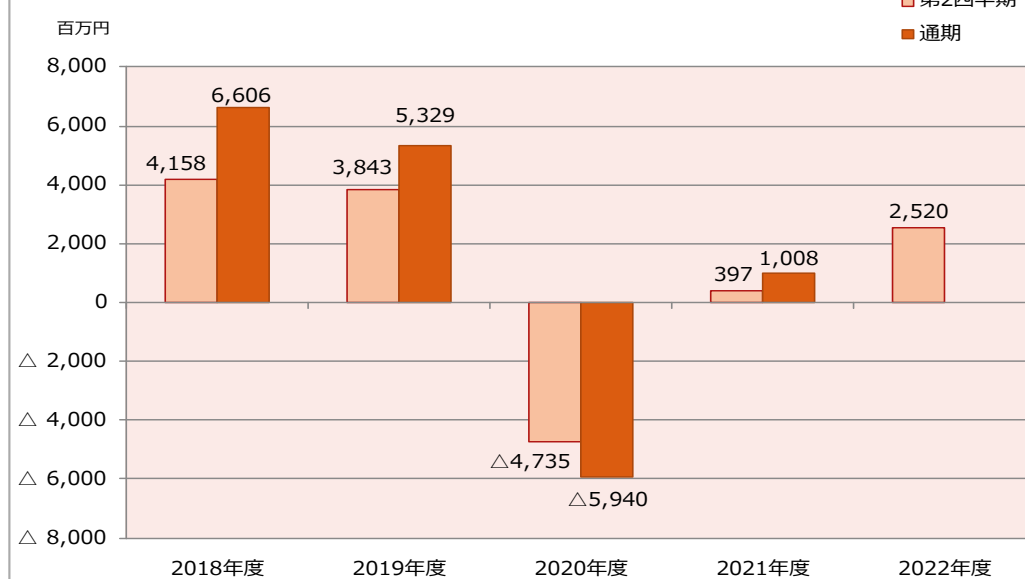
(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減	摘要
営業キャッシュ・フロー	5,384	6,924	△ 1,540 (△ 22.2%)	棚卸資産の増減額△1,993 未払消費税等の増減額△1,267 仕入債務の増減額+2,289
投資キャッシュ・フロー	△ 3,658	△ 3,206	△ 451 (△ 14.1%)	固定資産の売却による収入△345 固定資産の取得による支出△129
財務キャッシュ・フロー	△ 1,789	△ 2,026	236 (11.7%)	短期借入金の純増減額+4,714 長期借入による収入△3,600 長期借入金の返済による支出△954
現金及び現金同等物の増減額	△ 63	1,691	△ 1,755 (△ 103.8%)	
現金及び現金同等物の期末残高	3,341	4,306	△ 965 (△ 22.4%)	
フリーキャッシュ・フロー	1,725	3,717	△ 1,992 (△ 53.6%)	

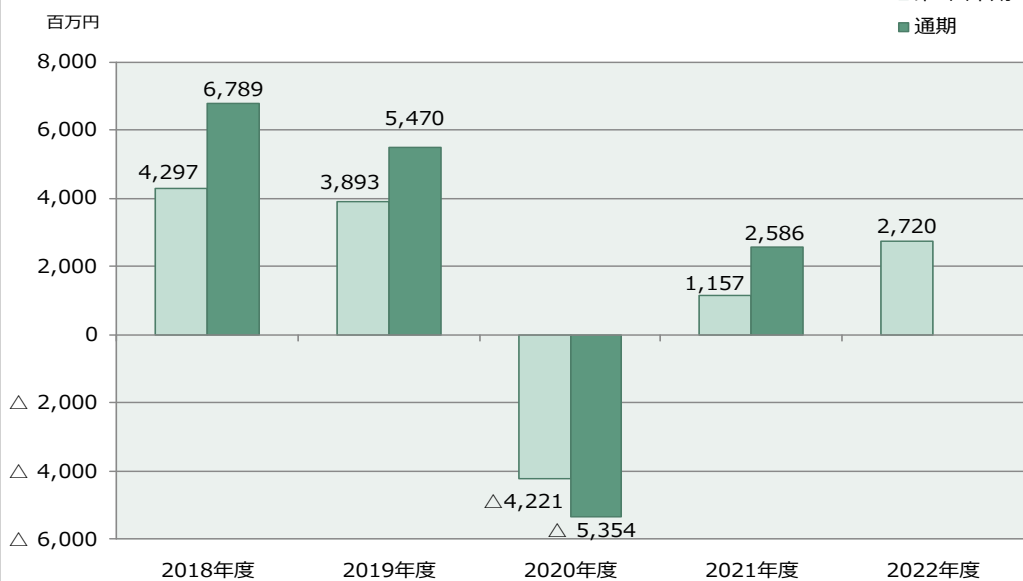
## 売上高



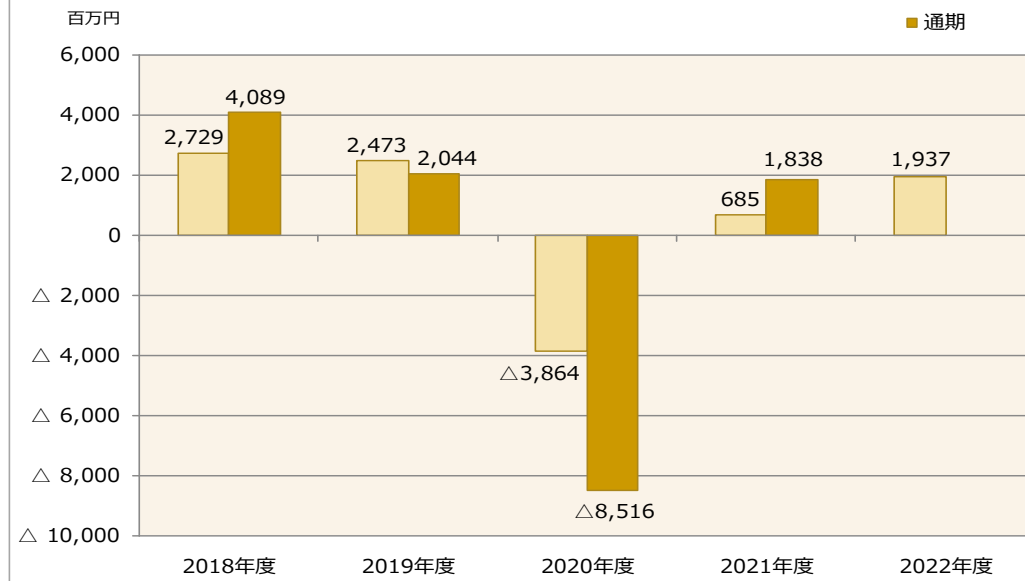
## 営業利益



## 経常利益



## 親会社株主に帰属する四半期純利益





神奈川中央交通グループ 子会社18社、関連会社3社  
うち 連結子会社 18社  
持分法適用会社 2社 (大山観光電鉄(株)、(株)小田急保険サービス)

## 〈主な連結会社〉

- 一般旅客自動車運送事業  
神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神奈中観光(株)
- 不動産事業  
神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神中興業(株)
- 自動車販売事業  
神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)
- その他の事業  
神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)神奈中スポーツデザイン、  
(株)アドベル、(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減	摘要	2023年3月期 第2四半期業績予想 (2022年4月公表値)	増減
売上高	24,794	22,240	2,553 (11.5%)	乗合事業+1,451 貸切事業+281 乗用事業+819	25,870	△ 1,075 (△ 4.2%)
営業利益	397	△ 1,989	2,386 (-)	乗合事業+1,511 貸切事業+109 乗用事業+766	850	△ 452 (△ 53.3%)

### 【対前年】

前年の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の反動による旅客需要の改善に加え、固定費削減が寄与し、増収増益

### 【対予想(2022年4月公表値)】

いわゆる「第7波」の影響により、旅客需要の回復が進まず減収減益

(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減	摘要	2023年3月期 第2四半期業績予想 (2022年4月公表値)	増減
売上高	3,057	3,768	△ 710 (△ 18.9%)	賃貸事業+2 分譲事業△712	3,090	△ 32 (△ 1.0%)
営業利益	1,415	1,574	△ 158 (△ 10.1%)	賃貸事業+34 分譲事業△193	1,310	105 (8.1%)

### 【対前年】

賃貸事業は、減価償却費などの費用の減少により増益  
分譲事業は、分譲マンションの完売や新規分譲計画戸数の減少により減収減益

### 【対予想(2022年4月公表値)】

賃貸事業は、新規テナントの獲得や、修繕費などの費用の減少により増収増益  
分譲事業は、分譲マンションの分譲計画戸数の減少により減収、販売経費の減少などにより増益

(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減	摘要	2023年3月期 第2四半期業績予想 (2022年4月公表値)	増減
売上高	12,726	13,139	△ 413 (△ 3.1%)	商用車販売事業△627 輸入車販売事業+214	10,040	2,686 (26.8%)
営業利益	483	544	△ 60 (△ 11.1%)	商用車販売事業△57 輸入車販売事業△3	160	323 (202.4%)

### 【対前年】

半導体不足に伴うメーカーの生産納期長期化の継続により、新車販売台数が減少  
 商用車販売事業は、車両整備台数は増加したものの、トラックの販売台数が減少したことにより減収減益  
 輸入車販売事業は、新車販売において販売台数が減少したものの、中古車販売が好調に推移し増収

### 【対予想(2022年4月公表値)】

商用車販売事業は、トラックの販売台数や車両整備台数が増加したことにより増収増益  
 輸入車販売事業は、新車販売や中古車販売において販売台数が減少したものの、販売単価が増加し増収増益

### ※参考 新車販売台数

(単位:台)

	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減
トラック	685	869	△ 184
バス	34	22	12
輸入車	241	250	△ 9

(単位:百万円)

	2023年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	増減	摘要	2023年3月期 第2四半期業績予想 (2022年4月公表値)	増減
売上高	13,423	12,432	990 (8.0%)	流通事業+545 飲食・娯楽事業+365 サービス事業(資源活生 他)+293 商用車架装事業△174	13,030	393 (3.0%)
営業利益	278	333	△ 55 (△ 16.7%)	商用車架装事業△56 流通事業△7 飲食・娯楽事業+21	310	△ 31 (△ 10.3%)

### 【対前年】

流通事業は、燃料販売単価の上昇や自動車部品の販売が増加したことなどにより増収、資源価格の高騰に伴う原価増により減益  
 飲食・娯楽事業は、コロナ禍からの回復や、「ドトールコーヒESHOP」の新規出店や営業譲受などにより増収増益  
 資源活生事業は、前期に開業したペットボトルリサイクル施設の通期寄与などにより増収  
 商用車架装事業は、メーカーの商用車供給不足に伴う受注減などにより減収減益

### 【対予想(2022年4月公表値)】

流通事業は、燃料販売単価の上昇や自動車部品の販売が増加したことなどにより増収、資源価格の高騰に伴う原価増により減益  
 レジャー・スポーツ事業やホテル事業において、いわゆる「第7波」の影響により利用客数の回復が進まず、減収減益

2023年3月期 業績予想 (2022年4月27日公表値)

---

(単位:百万円)

	2023年3月期 業績予想	2022年3月期	増減
売上高	100,600	97,777	2,822 (2.9%)
一般旅客自動車運送事業	51,170	45,016	6,153
不動産事業	7,330	7,774	△ 444
自動車販売事業	22,610	26,692	△ 4,082
その他の事業	27,220	25,648	1,571
調整額	△ 7,730	△ 7,354	△ 375
営業利益	4,780	1,008	3,771 (373.8%)
一般旅客自動車運送事業	1,350	△ 3,357	4,707
不動産事業	2,500	3,058	△ 558
自動車販売事業	400	881	△ 481
その他の事業	730	590	139
調整額	△ 200	△ 165	△ 34
経常利益	4,750	2,586	2,163 (83.6%)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,690	1,838	1,851 (100.7%)
1株当たり当期純利益	300.69円	149.79円	150.90円
減価償却費	6,010	6,608	△ 598
資本的支出	13,230	6,125	7,104
EBITDA(営業利益+減価償却費)	10,790	7,617	3,172

※2022年4月公表の業績予想から修正しておりません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<お問い合わせ先>

神奈川中央交通株式会社 経営戦略部 IR担当 TEL:0463-22-8894